

夢現の可能性を信じて

岩手県立北上翔南高等学校 陸上競技部監督 本正園子

1 指導者としての心構え→教育理念の作成=ぶれない自分づくり→別紙資料

- ・指導者としての初心→ 情熱
- ・指導者として、レベルアップするために → 師を持つことの大切さ（モデル、理想）
- ・指導者としての人脈ステージ → 誰と話をし、誰と情報交換するか（るい友）
- ・現状維持は、退歩への一歩と心に置き、常に進化・成長を目指す（日々向上）

2 選手育成法

熊本インターハイ女子100m競走 日本一達成

なぜ、県大会3位 13 “3の子が、日本一（11”97）になれたのか？

- ・やる気→自分で自分の心にスイッチを入れて、電流を流し続ける人に育成する（日誌）
- ・目標設定（今日のことで精一杯の生徒の心を未来に向ける）
- ・自立（自分のことは、自分でできる生徒 車の送迎無し・自力登校）
- ・セルフ・プロデュース能力（自己コントロール 時間 几帳面）
- ・勝運（勝負レベルのステージが高くなるほど、力の差はない 負けるときは、ミス 不運）
- ・自信が確信に変わる → 心の底からできると信じていた→小成功の積み重ね

3 継続勝利の極意 連覇の意識

- ・自分の中に基準を設けている
- ・料理と同じ 与えられた材料をどう生かし、どう利用するか
- ・先輩から後輩への指導=知の移植

4 勝てないチームの特徴

- ・不思議な理由での欠席（家の用事って何？） → 報連相の欠如
- ・3S（清掃 整頓・整頓 清潔）の欠如（部室が汚い 練習用具が管理されていない）
- ・時間にルーズ 集合時間 5分前行動 体内時計がゆっくり など
- ・制服の着こなし 第1印象（パツ とみて だらしない× ちょっと駄目 ×）
- ・髪型（清潔感 スポーツに適した髪型 短い髪=覚悟（集中）
- ・瞳の輝き 瞳には、化粧できない 心の鏡は、瞳力 笑顔 表情
- ・怪我が多い 不注意 注意力散漫 自己コントロール能力
- ・声（声量 トーン チームの声 一人で出せる声のレベル）
- ・言葉遣い 正しい敬語 言葉の使い分け
- ・自分を名前で言う 〜は・・・ 幼児性・甘やかし（女子に多い）
- ・チーム目標に温度差 → 指導者・リーダーの責任

- ・指導者に対する信頼感
- ・厳しさの欠如 → 厳しさ 優しさ 楽しさ の3性発揮

6 具体的な指導のヒント

- ・男子指導と女子指導の違い (男 限界への挑戦を楽しむ 女 心のブレーキを外せない)
 - ・最近の高校生の特徴を知る → 特徴を理解して指導していくこと
 - ・指導者の心にチャンネルを合わせずに言葉にチャンネルを合わせてしまう。
 - ・正しいことは、ハッキリ言った方がよい
 - ・関わり不足、会話が不得意で、仲間と共に何かに取り組むことの素晴らしさを知らない
 - ・ミーイズム (自分さえ良ければいい)
 - ・きっと、誰かがやるだろう→誰もやらない
 - ・仕事は、3年で辞める。原因は、人間関係が8割・・・コミュニケーション力の不足→直接自分で言えない、言わない生徒の増加
 - ・忍耐力の不足・・・あと、ちょっとが我慢できない
→できないと決めつけ、最初からやらない→損か得か思想→徳を考える指導
 - ・思いやりの不足・・・相手の立場で考えられない。→気持ちを考えられない
 - ・携帯電話・メール・ゲーム人間
 - ・部活動の役割
 - ・服装→自覚と誇り・責任感
 - ・自分が良ければいい→ミーイズム
 - ・背景を考えられない
 - ・人の話を聞かない
- スポーツで人間力の高さが、これからのポイント
- ・まじめ ・素直 ・一生懸命
 - ・ひたむきな姿 ・元気ハツラツ
- に共感し、感動する！！ → 花巻東高校野球部 → 日本のモデル
全国3万人の体育会学生の奪い合い
→ 基礎・基本が身につけている→企業は、教育にかける予算がない

7 終わりに・・・

今の自分にあるもの

- 若さ・情熱 → 知識 情報 人脈 判断力 許す心 3性の使い分け
- ・生徒の可能性は、無限=夢現

7 北東北インターハイ・国体が、北上から発信するチャンス

- ・私のブログ サブトラック ちいさなぐらんど

<http://ameblo.jp/honjo414/>